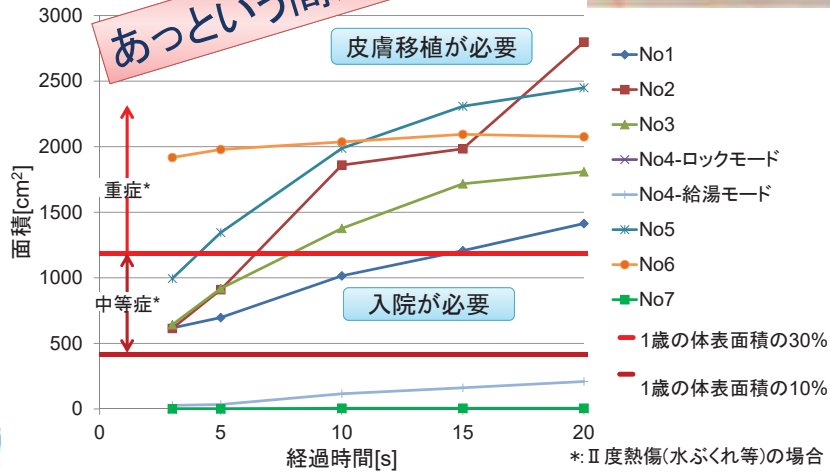


電気ケトルのお湯漏れの時間

あっという間は5~10秒



事故の対応例

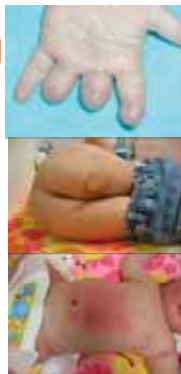
～天窓事故を例題として～

- 2008年6月18日 杉並区立杉並第十小学校で6年生が天窓から転落(→事故が発生)
- 2010年4月8日 鹿児島県霧島市立綾南小学校 小学3年生天窓から4m転落 (他の地域で事故が繰り返される)
- 2011年1月31日 杉並第十小学校の校長 戒告処分(行政処分)
(→たまたま上長・担当だった誰かの責任となり、事故報道、事故の対応(対策ではなく)が収束する。)

乳幼児の死亡原因の現状

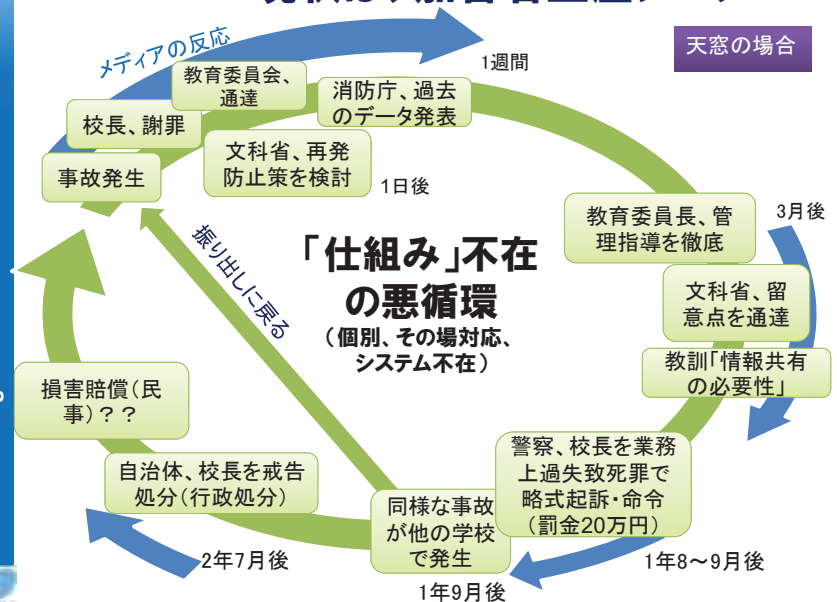
- 健康問題 死亡原因の第一位は、**不慮の事故**
- 経済問題 製品による傷害による社会コスト 80兆円(アメリカ)
- 科学技術の問題 傷害データを予防に繋げる工学技術の欠如
- 社会システムの問題 業際的・学際的に取り組むネットワークの欠如

年齢	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
0歳	先天奇形等 708人	呼吸障害等 247人	乳幼児突然死症候群 93人	出血性障害等 83人	不慮の事故 79人
1~4歳	先天奇形等 157人	不慮の事故 108人	悪性新生物 68人	心疾患 49人	肺炎 49人
5~9歳	悪性新生物 100人	不慮の事故 87人	先天奇形等 31人	心疾患 25人	25人
10~14歳	悪性新生物 107人	自殺 88人	不慮の事故 74人	先天奇形等 28人	心疾患 18人
15~19歳	自殺 446人	不慮の事故 289人	悪性新生物 147人	心疾患 52人	その他新生物 21人



年齢階級別に見た死因順位 (2015年人口動態統計(概数))

社会問題: 現状は、加害者生産システム



データを活用した安全知識循環社会 (傷害予防の生活デザイン)

世界でも新しい業際・学際的仕組みの確立(技術・データ・人)



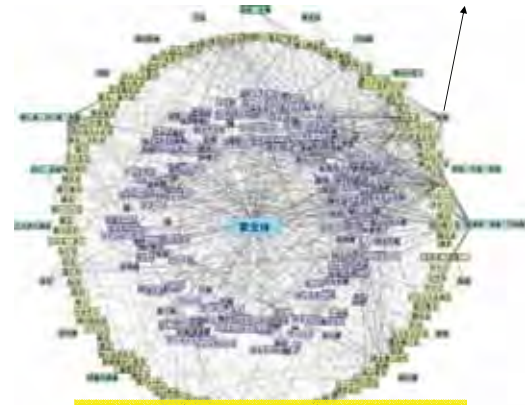
[事故情報を集める技術] 傷害サーベイランス技術

病院は、データ開門!



身体地図情報システム技術

- ◆ 診療所
 - ◆ 緑園子どもクリニック
 - ◆ 出口小児科医院
- ◆ 中核機関
 - ◆ 国立成育医療研究センター (子どもの専門医療機関)
 - ◆ 大村市医師会・歯科医師会 (80病院)

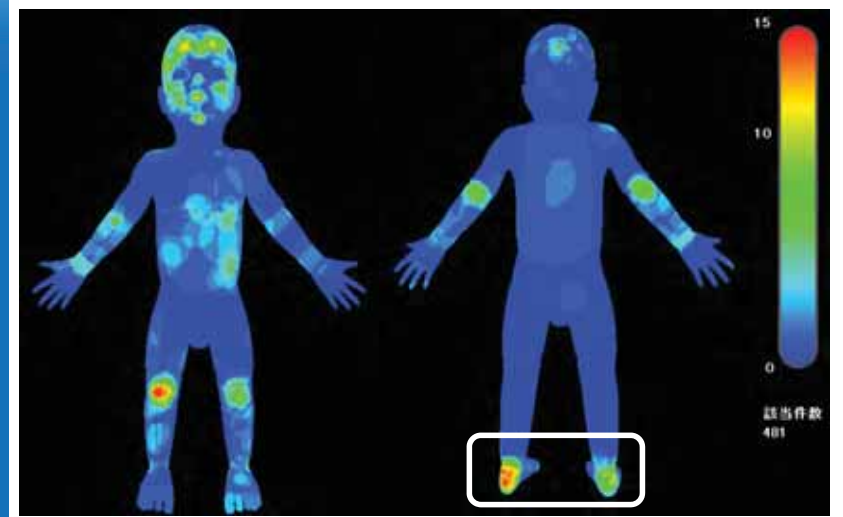


4万件 (2006年11月~2016年現在)

社会に眠ったビッグデータを 活用した傷害予防①

医療機関のビッグデータ

事故事例を検索サービスの例 (自転車)



<http://www.cipec.jp/project/>